

# 「与論町子ども議会～ゆめ議会2021～」

○ 令和4年1月7日（金）

於・与論町役場議場

○ 当日の流れ

(8:55)

- ・ 開会のあいさつ（山町長）
- ・ 出席者の紹介（杉田学務係長）

(9:00)

1 開会

2 一般質問・前半 進行

(1) 9:05～ 9:13

(2) 9:13～ 9:21

(3) 9:21～ 9:29

(4) 9:29～ 9:37

(5) 9:37～ 9:45

(休憩 9:45～ 9:55)

(9:55)

3 一般質問・後半 進行

(6) 10:00～10:08

(7) 10:08～10:16

(8) 10:16～10:24

(9) 10:24～10:32

(10) 10:32～10:40

4 閉会

(10:40)

- ・ 感想発表（坂元議員，川畑議員，永野議員）
- ・ 講評（久留副町長）
- ・ 閉会のあいさつ（町岡教育長）
- ・ 記念撮影



吉田 莉萌（与論高校1年）

富岡 葉菜（与論小学校6年）

松井 抄宙（与論小学校6年）

平田 一期（茶花小学校6年）

山代 純璃愛（茶花小学校6年）

坂元 ひろ子（那間小学校6年）

吉田 琉乃（与論中学校3年）

竹本 恋（那間小学校6年）

川畑 日藍子（与論中学校3年）

遠山 奏汰（与論中学校2年）

永野 海璃（与論高校1年）

山田 義将（与論高校1年）

※ 役場からの出席者は以下の通り。

- 山町長，久留副町長，町岡教育長
- （答弁あり出席者） 田畑学務課長，朝岡環境課長，川上生涯学習課長，  
松村商工観光課長，町本建設課長，光環境課主事 ※答弁順
- （答弁なし出席者） 杉田学務係長，町町立図書館主事

※ ゆめ議員側は，奥山太馳（与論小6年）と原田夏那（那間小6年）もサポーターとして参加。

## ○ 議事録

※ 「開会のあいさつ（山町長）」及び「出席者の紹介（杉田学務係長）」は掲載を省略

（吉田議長） 与論高校の吉田です。これから本日の会議を開きます。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は、遠山議員、山田議員を指名します。

日程第2「会期決定」に移ります。「ゆめ議会2021」の会期は、本日より一日限りにしたいと思います。異議ありませんか。

（ 全員 ） 異議なし。

（吉田議長） 異議なしと認めます。会期は本日一日限りに決定しました。

続きまして、日程第3「一般質問」を行います。

富岡議員の質問をお願いします。

（富岡議員） おはようございます。与論小学校6年、富岡葉菜です。初めての子ども議会でもとても緊張していますが、少しでもいい話し合いをして、与論町を楽しくしていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

それでは、私の質問を始めさせていただきます。私は学校の遊具を増やすことについて質問をします。学校にいる生徒に対して遊具が少なく、けんかが起こっています。また遊具が古くて、怖くなってしまうときもあります。最近では高学年が遊具で遊びすぎて飽きてしまい、教室でタブレットを使う人が増えてきていると思えます。

このことを解決するために、私は、遊具を直すことと遊具を増やすことが必要だと考えます。

具体的には、遊具の不安定な所を直したりタッチ板などの体を強くする遊具を増やしてほしいと考えます。こうすることにより、小学生が安心して遊べて体力が身に付いてくると思えます。

もしかすると、小学生がけがをしてしまうかもしれないという意見があるかもしれません。しかし、使い方を厳しく教えて、間違った使い方をしていたら注意してあげるようにすればいいと思えます。

以上、遊具を増やすことについてのお考えをお聞かせください。

続いて、体育館の雨漏りについて質問します。

与論小の体育館は、雨が降ると壁や床がべちょべちょになってしまいます。最近では少しだけよくなりましたが、安心して体育やスポーツなどができません。また、校長先生にも提案し、床をきれいにしてもらいましたが、まだ、壁がびちょびちょしています。

これらのことを解決するために、私は、体育館の雨漏りを直すことが

必要だと考えます。

具体的には、鉄骨が錆びて壊れそうなので、そこを直すと雨漏りが少なくなると思います。こうすることにより、安心して体育やスポーツができると思います。

以上、体育館の雨漏りを直すことについてのお考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

(吉田議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。教育委員会学務課の田畑課長。

(田畑課長) おはようございます。教育委員会の学務課長の田畑でございます。よろしく申し上げます。

はじめに遊具のことについて、答弁をさせていただきます。

教育委員会では毎月、学校の先生たちに遊具の安全点検をし、報告してもらっています。安全点検の報告書をみると与論小学校だけでなく、他の学校の遊具も同じように不安定な箇所が複数あります。教育委員会では、その報告書をもとに遊具の修理をしたり、修理ができないものは撤去したりしています。遊具は子供たちに楽しい遊びを提供する大切なものです。このような遊具での遊びは、危険を回避する能力や、危険を予知する能力が身に付くものと思われま。また、異学年の児童生徒がいっしょに遊ぶことで、コミュニケーション能力や友情も育つように考えられます。このように、学校遊具が児童生徒の成長に与える影響の大切さは認識しているところです。いちどきで全てを満たすことはできませんが、成長段階に応じた遊具の選定を行い、皆さんが希望する遊具も調査しながら、時間をかけて順次揃えていきたいと思。います。

次に与論小学校の体育館の雨漏りについて答弁をさせていただきます。体育館の雨漏りによって体育の授業やスポーツ少年団の活動に支障を来していることは認識し、非常に申し訳なく思っています。

体育館の屋根は普通のお家の屋根と違って特別な構造をしています。残念ながら与論町には体育館の屋根の修理をできる専門的な会社がありません。そのため教育委員会では、島外の会社に屋根の修理をお願いしているところです。皆さんも知っているとお。り、昨年。から新型コロナウイルス感染拡大によって島外からの移動に制限があり、スムーズに修理を行えない状況が続いています。そんな中、一度は来島してもらって修理をしてもらいましたが、よ。くなっておりません。やっぱり屋根が特別なつくりのため、完全には直っておりません。来年度、修理する計画になっているので、利用する皆さんにはご迷惑をおかけしますが、今しばらくの辛抱とご協力をお願いしたいと思。います。

以上、よろしくお。願いいたします。

(吉田議長) 富岡議員。

(富岡議員) ありがとうございました。

(吉田議長) 以上で、与論小 富岡議員の一般質問を終わります。  
次に、与論小 松井議員の一般質問をお願いします。

(松井議員) おはようございます。私は与論小学校の松井抄宙です。今日の話合  
いで与論町が今よりももっと良くなればいいなと思っています。よろし  
くお願いします。それでは私の質問を始めさせていただきます。

私は与論の海ごみについて質問をします。

今の与論町には、軽石やマイクロプラスチックで白い砂浜の部分すなはまが少  
なくなってきていて、マイクロプラスチックは拾ひろえにくいくらい小さくな  
っているものもあります。

これらのことを解決するために、私は、海ごみを出す場所を変えるこ  
とが必要だと考えます。

具体的には、小さなカゴでもいいので各砂浜すなはまに設置し、そこにゴミ袋ぶくろ  
を置き、ごみや軽石は家に持ち帰ってもらい、家庭ごみと同じように回収かいしゅう  
してもらいたいです。こうすることによりごみや軽石がなくなり、白い  
砂浜がもっときれいになると思います。そうすることによって、観光客  
も増えると思います。

もしかするとゴミ袋を増やしても気づかない人もいたり、家庭ごみを  
入れたりする人がいるかもしれません。そのときは、ポスターや看板かんばん  
を設置すると良いと考えます。

以上、与論の海ごみを減らすことについての考えをお聞かせください。

続いて、与論の公共施設しせつについて質問します。

茶花には砂美地来館さびちらかんやB & G プールがあるけど、与論校区や那間校区  
には公共施設がないです。

これらのことを解決するために、私は、与論校区や那間校区にも公共  
施設を作るが必要だと考えます。

具体的には、使われていない建物は取り壊し、そこに公園や体育館な  
どを作る。また、土地がない場合は公民館に遊具を設置したらいいと思  
います。こうすることにより、小学生や小さい子の遊び場が増えると思  
います。

もしかすると、今でも十分に遊んでいるという意見があるかもしれま  
せん。しかし、外に遊び道具がないことによりインターネットで遊ぶ人  
が多くなるので、外に出たくなるような遊具を設置することが良いと考

えます。

以上、与論の公共施設を増やすことについての考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

(吉田議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。環境課の朝岡課長。

(朝岡課長) おはようございます。環境課の朝岡です。よろしく申し上げます。  
それでは、与論町の海ごみについてお答えします。与論町にはさまざまな砂浜があり、名前がついた浜だけでも約60か所あります。その中で主だった浜は、環境課の職員2名が週5日、海岸清掃に回っています。「拾い箱」を設置している浜以外ではごみを捨てる場所は特に設定していませんが、最近ではボランティアの方が浜の入り口などわかりやすいところに拾ったごみをまとめて置き、それを環境課職員が回収しています。

海ごみを捨てる場所に関しましては、「拾い箱」設置と同じ問題になります。先ほどの質問にもありましたが、家庭ごみを置く人が増えるなど、対応に苦慮した経験があり、現在は増やしたり場所を変えたりすることは考えておりません。今後必要があれば検討したいと思えます。

(吉田議長) 松井議員。

(松井議員) 家庭ごみを入れていることを私も見たことがあるので分かるんですけど、与論町の小・中・高生にアンケートをとった結果、与論町で海ごみが問題になっていると感じている人が92.7%もいることがわかっています。なので、小さなカゴでもいいので各砂浜に設置し、そこにゴミ袋を置き、ごみや軽石は家に持ち帰ってもらうという方法をもう一度お考えください。

(朝岡課長) ありがとうございます。この質問のあとに、「拾い箱」についての質問もあると思えますので、そちらで回答したいと思います。今のご意見もいただきながら、今後考えていきたいと思えます。

(吉田議長) 続いて、生涯学習課の川上課長。

(川上課長) おはようございます。生涯学習課の川上でございます。与論町の公共施設について答弁をさせていただきます。

本町には、各集落に自治公民館が設置されています。自治公民館は、地域住民にとってより身近な施設であり、地域住民の社会教育活動や学

習活動、また、地域づくり、まちづくり活動、住民の自治活動を行う拠点でもあります。使われていない個人の建物については、町が勝手に取り壊すことはできませんが、自治公民館で行われている事業は、乳幼児から高齢者までの幅広い地域住民を対象にしていますので、新たな体育館の建設や公園の整備、公民館への遊具の設置など、集落の自治公民館において若い皆様方の要望や意見を出し合って地域づくりを進めてみるとよいと思います。そのためには、子ども会の中で話し合ってみることも大事だと思います。

その結果、集落住民全体の意見や要望として、町が公共施設を整備することや遊具を設置する必要があるということであれば、実現に向けて検討していきたいと思います。以上です。

(吉田議長) 松井議員。

(松井議員) ありがとうございます。

(吉田議長) 以上で、与論小 松井議員の一般質問を終わります。次に、茶花小 平田議員の一般質問をお願いします。

(平田議員) おはようございます。茶花小学校6年平田一期です。私は今、とても緊張しています。でも、自分の意見を採用していただけるように頑張ります。よろしくをお願いします。

それでは、私の質問を始めさせていただきます。私は、観光ホテルをどう利用するのかについて質問します。観光ホテルは、今、取り壊しをしている最中です。僕は、そのホテルの取り壊し前は、崩れたり、観光客が見たときにマイナスで、与論全体に影響が及ぶのではないかと考えていました。

取り壊した後の具体的な利用の仕方について、どのように考えているのか教えてください。

私はあのホテルの跡地に公園を作ることが必要だと考えます。

6年生にアンケートをとったところ、具体的な意見をもらうことができました。例えば、巨大な遊具や謎解き迷路、アスレチックやターザンロープなどがありました。こうすることにより、与論で遊具を使って楽しく遊べる場所が増えるので、家でのメディア活動が少なくなり、より外で遊ぶ子供たちが増えるのではないかと考えています。

以上、観光ホテルの跡地をどう利用するのかということについての考えをお聞かせください。よろしくをお願いします。

(吉田議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。商工観光課の松村課長。

(松村課長) 商工観光課の松村です。ただ今のご質問についてご説明したいと思えます。

観光ホテルの関係者に確認したところ、現在、建物内の備品を分別しながら持ち出しし、処分を行っており、その後、最低でも1年以上をかけて建物の取り壊しを行うとのことでした。

その後の計画については、今のところ未定であり、当面は整地をして「さら地」の状態です。

用地の買い取りについては、地主の方が今後どういう使い方をするのか、どれぐらいで土地を売ってくれるのか、購入のための予算が準備できるのかなど色々な課題があります。

一方、本町では子供たちの遊ぶ場所が少なく、ご提案いただいた遊具のある公園造りについては、とても大切なお提案であると考えます。すでに町が所有している町有地などで遊具が設置できる場所がないか、どのような遊具が必要か、活用できる国や県の補助事業や予算がないかなど検討して参りたいと思えます。以上です。

(吉田議長) 続いて、建設課の町本課長。

(町本課長) おはようございます。建設課の町本と申します。よろしくお願ひいたします。建設課は公園の整備についてお答えしたいと思えます。

本町には、サッカー場の一部を利用した遊具施設や赤崎の麦屋漁港を利用したポケット公園はありますが、思ひっきり遊べる公園がなく大変不便をかけていると思えます。公園の整備については、かねてより皆さんから強い声を頂いているところであり、私たち役場もその声に答えるために、来年度から少しずつではありますが整備を進めていく計画をしています。

新規の公園整備を行う場合、土地の確保や手続きなど時間がかかったり、多額のお金がかかったりするといった課題も出てきます。まずは、今ある赤崎の麦屋漁港の公園を改修し、小さな子供や高校生まで利用できるようアンケートをとりながら整備を進めていければと思えます。

また、雨や風など、天候に左右されない遊び場として、たとえば多目的屋内運動場を土曜・日曜日をキッズランドとして開放し、手とつま先で壁をよじ登るボルダリングを設置したり、トランポリンやエアースリ台、ボールプールなど設置し小さい子供から大人まで一緒に遊べる施設を整備できたりしないかなど、いろいろなアイデアをみなさんと出し合いながら進めていくことが大事だと思えます。今後とも皆さんの貴重な

お声を聞かせながら検討を重ねていきたいと思ひます。

(吉田議長) 平田議員。

(平田議員) ありがとうございます。

(吉田議長) 以上で、茶花小 平田議員の一般質問を終わります。次に、茶花小 山代議員の一般質問をお願いします。

(山代議員) こんにちは。茶花小学校6年の山代純璃愛です。私は、この子ども議会に参加できてとても嬉しいですが、この場に立って、とても緊張しています。けれども、この議会の質問を通して、与論のことについて深く学びたいと思ひます。今日はよろしくお願ひいたします。それでは私の質問をさせていただきます。

私は、側溝のふたの大きな穴は危険なのではないかということについて質問します。

私は、最近、登校中、側溝に子猫が落ちているのを見かけました。子猫が落ちている側溝のふたには、このように、子猫一匹は落ちそうな穴が開いていました。他にも、欠けていたりなどして、少し大きな物も、運悪く落としたり、ふたの下に落ちそうで危ないなと思ひました。

これらの事を解決するために、私は、側溝のふたを安全なものに取り替えることが必要だと思ひます。

具体的には、みんな怪我なく安全に登下校するために、物や生き物を大切にするために、ふたを新しいものに取り替えてほしいと思ひます。

こうすることにより、皆が安心して楽しい学校生活を送れ、生き物や動物一つ一つの命を守ったり大切にすることができると思ひます。

もしかすると、「穴がたくさんあるのかないのか」「穴の大きさはどれくらいなのか」「たくさんあったらお金がどれくらい必要なのか」という意見があるかもしれません。

しかし、欠けている穴がたくさんあってもなくても、人が怪我したりしたらすぐに手当できないかもしれないし、物が落ちたり、動物や生き物が落ちたらすぐに助けることができません。

以上のことから、側溝のふたを安全なものに取り替えることについてのお考えをお聞かせください。お願いします。

(吉田議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。建設課の町本課長。

(町本課長) それでは、今の道路の側溝についてお答えしたいと思ひます。



道路の整備については、道路の機能効果やその維持を保持しながら路面の凸凹の箇所などの修繕や見通しの悪い箇所などの改良を行うなど、安全性を高めつつ道路の維持管理に努めているところです。

これまで整備された多くの道路が老朽化の時期を迎えており、順番に老朽化した箇所の修繕を行うこととしております。ご質問にあります側溝や道路に穴が開いていると大変危険ですので、早急に対処するよう心掛けていますが、私ども、危険箇所について気づかない所も多々ありますので、そのような箇所が見つければすぐに連絡いただければと思います。ご指摘の通学路に関しても、安全に登下校が出来るように側溝のふたや道路に穴が開いてないか日常点検をしながら、整備を進めていきたいと思っております。貴重なご意見、ありがとうございました。

(吉田議長) 山代議員。

(山代議員) ありがとうございました。

(吉田議長) 以上で、茶花小 山代議員の一般質問を終わります。次に、那間小 坂元議員の一般質問をお願いします。

(坂元議員) こんにちは。私は那間小学校の坂元ひろ子です。今日はお忙しい中お時間いただきありがとうございます。緊張して少しお腹が痛うございますが、自分の意見が皆様に伝わるよう、そして、それが実践されますようがんばって参ります。よろしく願いいたします。

それでは私の質問を始めさせていただきます。

那間の人口が茶花や与論に比べ少なく、減りつつあります。実際に平成7年から平成27年の20年の間で約110人ほど人口が減少しています。

これらのことを解決するために、私は、那間に住宅を増やし、子供たちが安心・安全に遊べる公園や施設を作ることが必要だと考えます。

具体的には、那間に公園や住宅、マソーのような食べ物が売られているお店などを設置したらよいと思います。こうすることにより那間はもちろん、与論全体の人口が増え、那間校区にも活気が出ると思います。

もしかすると、公園や住宅お店を作るお金や土地がないという意見があるかもしれません。しかし、人口が増えるとよいことしかないんじゃないかと考えます。

以上、公園、住宅、お店を設置することについてのお考えをお聞かせください。

(吉田議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。建設課の町本課長。

(町本課長) 立て続けの質問、ありがとうございます。それでは、坂元議員の那間校区の街並みについてお答えします。

那間校区には畑が広がっており、サトウキビや畜産などの農業が盛んに営まれておりますが、その一方で住宅などが少なく、児童生徒も減少しています。これらの事を解決するには、ご指摘のとおり、公園や住宅、お店を整備することで地域の活性化を図る事が大事だと思います。現在、那間校区には、叶住宅を今年度建設する準備を進めているところですが、その他の集落についても、住宅の建設について検討を進めているところです。

また、ご質問の公園整備については、かねてより皆さんから強い要望があることから、各校区にそれぞれ整備する必要があると認識しております。空き地など有効活用ができる場所などないか検討しながら、貴重なご意見として取り組んでいきたいと思っております。できれば、坂元議員が大きくなって、与論町役場に入っていただいて、いっしょに取り組んでいければと思っております。

(吉田議長) 坂元議員。

(坂元議員) ありがとうございます。

(吉田議長) 以上で那間小 坂元議員の一般質問を終わります。

ここで、前半の一般質問を終了します。後半の議事進行は吉田琉乃副議長が行います。後半は9時55分より再開します。それでは、暫時休憩します。

(吉田副議長) ただ今より、後半の一般質問を始めます。

まず、那間小 竹本議員の一般質問をお願いします。

(竹本議員) おはようございます。那間小6年生竹本恋です。今日はよろしく願いいたします。それでは私の質問を始めさせていただきます。

私は海に設置している拾い箱について質問をします。

現在、与論では9つの拾い箱が設置されています。しかし、他の海岸には置かれず、ボランティアの方々が海をきれいにしにくく、汚れてしまってる海岸も何か所かあると思っております。それにより、せっかくの綺麗な与論の海が台無しになり、観光客や海の生き物を悲しませることになるかもしれません。

このことを解決するために、私は、拾い箱を増やすことが必要だと考えます。

具体的には、一気に全部設置するのではなく、まず人気がある海岸から設置し、少しずつ増やしていけばいいと思います。さらにその拾い箱の周りの絵をこども園の子たちに描いてもらい、未来に伝えられるような工夫をすればいいと思います。こうすることにより、ごみ拾いをする人や海ごみに関心をもつ人が増え、海のごみが減るだけでなく、地域の繋がりももてて一石二鳥だと思います。

もしかすると、「拾い箱のごみを回収する人が不足している」「拾い箱の設置が難しい」という意見があるかもしれません。

しかし、拾い箱の回収をアルバイトにして募集すれば、やりたいという人がいるかもしれないし、拾い箱にかかるお金は募金で集めるとよいし、拾い箱に農業用のサンテナーを利用して設置を簡単にしたらよいと考えます。

以上、拾い箱を増やすということについてのお考えをお聞かせくださいよろしくお願いいたします。

(吉田副議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。環境課の光主事。

(光主事) みなさん、こんにちは。環境課の光と申します。本来であれば課長が答弁するのですが、課長が若手にチャンスを与えてくれまして、こういう答弁の機会をいただきました。では、答弁をさせていただきます。

拾い箱については、平成28年に県の補助金を活用して10基設置しております。現在では、台風の影響等による破損で8基が設置されており、島民や観光客の方に利用してもらっています。

拾い箱を設置した理由としては、だれでも気軽に海岸漂着ごみを拾うことができる環境づくりをすることが目的でした。現在では、海謝美をはじめ、多数のボランティアの方が海岸ごみを拾い美しい海岸を保っています。

拾い箱を設置していない海岸については、わかりやすいところに分別してまとめて置けば、環境課の職員が海岸清掃として与論町の60海岸を回っておりますので、その際に回収しております。

現状としては、だれでも気軽に海岸漂着ごみを拾う環境づくりができてきたため、拾い箱を増やす予定は今のところありません。ですが、今後、検討していきたいと思っております。

(竹本議員) ありがとうございます。

(吉田副議長) 以上で、那間小 竹本議員の一般質問を終わります。次に、与論中 川焔議員の一般質問をお願いします。

(川焔議員) おはようございます。与論中学校3年川焔日藍子です。今日は落ち着いてできたらなと思います。よろしく願いいたします。

私は与論のイベント開催について提案をします。

以前、茶花海岸で花火大会が行われましたが、イベント開催に当たって、いつ開催されるのか、コロナ対策が十分に行われているのかが分からない人が多くいたと思います。

これらのことを解決するために、私は、期日やコロナ対策等を具体的に知らせ、知らせる手段を増やすことが必要だと考えます。

具体的には、スマホのLINEやInstagram、FacebookなどのSNSを活用して、イベント開催の有無や期日、コロナ対策などを簡単に周知するとよいと考えます。また、スマホを持っていない小・中学生、高齢者の方々のために、町内放送で繰り返し放送すると島民のより多くの人に知らせることができると思います。

「与論町だより」で既にお知らせくださっているかもしれませんが、正直、私たち小・中・高生は町から配られる紙媒体を見ません。その代わりにLINEやInstagramなどのSNSは毎日見る人も多く、親近感をもち、興味をもつと思います。

以上、イベント開催の詳細をSNSや放送を活用して町民に知らせることについてのお考えをお聞かせください。

続いて、茶花海岸にシャワー室を設置することを提案します。

今、与論の浜には軽石がありますが、軽石が除去され、浜が元通りになったときに、観光客はもちろん中高生が多く遊びに行きます。そのときに、海で遊び、海水で濡れたまま家まで帰る人がいます。

家が遠い人は30分以上濡れたままになるので、風邪もひき、さらに、家やお店が海水や砂でびちょびちょになり、汚れてしまうという人が多数います。

さらに、高校生に話を聞いたところ、他のビーチだと住宅街から遠かったり近くにお店がなかったりする一方で、茶花海岸は住宅街から比較的近くにあり、マソーやオーシャンマーケットなどのコンビニが近くにあるため、遊びに行きやすいという意見があったことから、茶花海岸に設置することがよいと思います。

ここで、中学生179人に「シャワー室があるといいな」と思ったことがあるか、アンケートをとりました。すると、ないと答えた人は約30%、あると答えた人が70%もいました。

これらのことを解決するために、私は、茶花海岸にシャワー室を設置

することが必要だと考えます。

具体的には、茶花海岸の草むらの場所や、端<sup>はし</sup>の使われていない場所などを利用すればいいと思います。海で遊んだ後すぐに着替えることができれば、様々なメリットがあります。一点目は風邪<sup>かぜ</sup>を防ぐことができます。二点目は家やお店が海水や砂で汚れることがありません。三点目は、利用者が増え、さらにに多くの人で賑わうと思います。

もしかすると、費用がかかるという意見があるかもしれません。そこで、募金<sup>ぼきん</sup>を行って資金を集め、少しでも町の負担<sup>ふたん</sup>を減らしたり、有料のシャワー室にしたりすれば良いと考えます。

以上、茶花海岸にシャワー室を設置することについてのお考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

(吉田副議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。商工観光課の松村課長。

(松村課長) はい。イベント発信<sup>しゅだん</sup>の手段について、ご説明をいたします。

与論<sup>よろんちよう</sup>町のイベントや情報の発信手段としては、町内放送や、週報などのチラシ、与論<sup>よろん</sup>町公式ホームページでお知らせしています。また、最近では、鹿児島<sup>ちいき</sup>のテレビ局MBC「南日本放送」でdボタン<sup>お</sup>を押すと表示される地域情報<sup>ちいき</sup>での情報発信や、LINEの「与論情報局」を活用して研修会などの参加者募集<sup>ぼしゆう</sup>について広告を出すといった方法でお知らせをしています。

また、昨年10月から、「広報よろん」や「お知らせカレンダー」をスマートフォン等で閲覧<sup>えつらん</sup>できるアプリ「マチイロ」を導入し、町民や島外在住者が気軽に閲覧できるようになっていますので、是非<sup>ぜ ひ</sup>皆さんもご活用いただければと思います。

町内の若者<sup>わかもの</sup>への周知方法として、SNSを活用することについてはとても有効かと思われま。一方で、既存<sup>きそん</sup>の紙媒体<sup>ぱいたい</sup>でしか情報収集<sup>しゆうしゆう</sup>ができない中高年方も多くいらっしゃることから、様々な媒体<sup>へいよう</sup>を併用しながらより多くの年代の方々に情報<sup>とど</sup>が届くように努めたいと思います。

(吉田副議長) 続いて、建設課の町本課長。

(町本課長) それでは、茶花海岸へのシャワー室の設置について、お答えします。

ご指摘<sup>してき</sup>のとおり、茶花海岸近くにはお店などがあり、泳いだあとなどにシャワー室の利用をすることで便利になり、茶花海岸を訪れる人が増えて賑わうと考えられます。

その一方で、シャワー室の排水対策<sup>はいすいたいさく</sup>を考える必要があります。

汚水<sup>おすい</sup>をそのまま海には流せない<sup>しよりしせつ</sup>ので、下水処理施設へ接続する必要があります。

あり、下水道があるマンホール施設の近くにシャワー室を設けなければならないことや、設置場所に対する景観や、台風・津波の影響を考慮しなければならないなど、関係する水道課、環境課、商工観光課といった関係部署と協議することになります。

いずれにしても、茶花海岸の活性化のための貴重なご意見として、今後、対応策を考えながら取り組んでいければと思います。ありがとうございます。

(吉田副議長) 川畑議員。

(川畑議員) ありがとうございます。

(吉田副議長) 以上で、与論中 川畑議員の一般質問を終わります。次に、与論中 遠山議員の一般質問をお願いします。

(遠山議員) おはようございます。与論中学校2年の遠山奏汰です。今、緊張していて間違えるかもしれませんが、最後まで精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。

私は総合グラウンド、第2グラウンドの改善について質問をします。

今、与論ではサッカーの競技人口はとても多いです。その影響から、ゆいLANDが作られました。しかし、サッカー以外の施設である総合グラウンドは、そこでイベントがあるときにしか整備されません。さらに、隣にある第2グラウンドは草が生えすぎて、本来の目的である野球やゲートボールなどは全くできない状況になっています。ゆいLANDに重心が置かれていて、総合グラウンドはまだ使えますが、第2グラウンドがほとんど使えない状況になっています。

また、グラウンドにある道具が古くなったり壊れたりしているものが放置されていて、だんだん不便になっています。

総合グラウンドの設備についてアンケートを取った結果、設備を整えてほしいと思っている人は、半数以上いました。また、具体的には、観客席に屋根を付けてほしいという意見や、しっかりと照明を付けてほしいという意見がありました。

これらのことを解決するために、私は、総合グラウンドと第2グラウンドの整備をすることが必要だと考えます。

具体的には、第2グラウンドと総合グラウンドの草取りや整備を定期的に行ったり、壊れている道具や古くなった道具を新品に取り替えたりしてその施設の質を向上させることです。こうすることにより、綺麗になって利用者が増えるのではないのでしょうか。また、それにより、島内

の人々の健康促進そくしん つなに繋がると思います。

もしかすると、グラウンドを整備しても、今利用している人は喜ぶかもしれないが、新規利用者が増えるとは考えにくいという意見があるかもしれません。

しかし、例えば野球だと島外のチームを呼んだり、2軍や3軍のプロ野球のキャンプを誘致したりするなど、島外の人々を呼んで利用者を増やすというようにすればよいと考えます。そうしたら、島外から訪れる人も自然に増えて、観光業などにもよい影響えいきょうを与えたいと思います。

以上、総合グラウンドや第2グラウンドを改善かいぜんすることについてのお考えをお聞かせください。よろしく申し上げます。

(吉田副議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。生涯学習課の川上課長。

(川上課長) 遠山議員の質問である、総合グラウンド等の整備についてお答えいたします。

現在、第2グラウンド——結団公園運動広場と言いますが——や、総合グラウンドは、与論町が指定管理委託を行い、ヨロンS Cが管理運営しています。総合グラウンドについては、主な行事に合わせて整備しています。また、サッカーゴールは劣化が激しく、使用できないものは、近日中に廃棄することとなっています。第2グラウンドは、テニスコート2面の利用がほとんどであり、大島地区の郡大会前にゲートボール及び弓道の練習に合わせて草刈り等の整備を行っています。

昨年の10月からは環境整備人員を1名増員しており、今後は、外部業者への委託も行いながら、計画的な環境整備と安全管理を徹底するとともに、必要な用具類を揃え、町関係機関や観光協会等と連携しながら、島外からのスポーツキャンプや合宿を誘致するなどサービスの向上に努め、利用促進を図っていきたいと思います。以上です。

(吉田副議長) 遠山議員。

(遠山議員) ありがとうございました。

(吉田副議長) 以上で、与論中 遠山議員の一般質問を終わります。次に、与論高校 永野議員の一般質問をお願いします。

(永野議員) おはようございます。与論高校1年永野海璃です。本日は、お忙しい中このような機会を設けてくださりありがとうございます。議員としての参加はものすごく緊張していますが、私自身の与論島に対する想

いを伝えられるように頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは私の質問を始めさせていただきます。私は与論の街灯事情について質問をします。

私は、夜間外出の際、特に那間校区や与論校区は街灯が少なく、危ないと思うことが多々あります。皆さんはそう思いませんか。お店が多くある茶花校区に比べて那間校区や与論校区には街灯が少ないと感じています。

これらのことを解決するために、私は、街灯を増やすことが必要だと考えます。具体的には、人気のないところに一個だけでも増やすことでそこが明るくなり、結構変わってくると思います。また、那間校区や与論校区などにも少しずつ増やしていけばいいと思います。こうすることにより、夜間外出する人が事故に遭いづらくなったり、怖い思いをしなくて済むようになってきたりすると思います。

もしかすると、「星が見えづらくなる」とか、「お金がかかる」、「ライトを持って歩けばいいのでは」という意見があるかもしれません。

しかし、星が見えづらいなら星を見るような施設を作ればいいと思うし、安全性を求めるなら多少の出費は仕方ないことだろうと思います。また、手持ちのライトだと車の邪魔になるかもしれないし、電池交換などの手間がかかると思います。

以上、街灯を増やすことについてのお考えをお聞かせください。よろしく願いします。

(吉田副議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。建設課の町本課長。

(町本課長) それでは、町内の街灯について建設課からお答えしたいと思います。

町内に設置されている街路灯は、その目的により道路照明灯や防犯灯、商店街灯などがあります。道路照明灯は、県道・町道・農道を管理する建設課や産業振興課などの道路管理者、防犯灯は総務企画課、商店街灯については、地元の商店会などがそれぞれ設置しています。また、防犯灯については、地元の各集落の自治公民館で取りまとめて総務企画課へ申請し設置しているところです。

ご質問のとおり、人通りの少ない所ほど街灯がなく、安全性が保たれていない所も多々あります。お金はかかりますが、安心安全な町にするためにも必要な個所に街灯を設置していく必要があると考えます。ただ設置については、明るくしすぎると近隣への光害が問題となり、暗すぎでは安全な道路を維持できないため、注意しながら進めていく必要があります。



現在、役場では商工観光課を中心に星空が見えるよう街灯の照明を調整する実証試験を行っており、これと連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。

(吉田副議長) 続いて、商工観光課の松村課長。

(松村課長) 商工観光課の答弁をさせていただきます。

街灯の設置につきましては、夜間の犯罪の防止及び通行の安全確保を目的として、「与論町防犯灯設置要綱」に基づき設置しております。

町が設置を行う基準としては、公共性があり、設置済みの防犯灯から新たに設置をしようとする防犯灯との距離が、直線距離で概ね50m以上離れていることとしており、設置に係る申請については、各集落の意見を集約する各自治公民館長から行ひます。

現在、町では、「星空の町」を推進しており、星空観測に影響を来す余分な明かり・光害を抑える取組を図っております。

安心・安全な町にするために、人気のないところへの街灯の設置につきましては、防犯や交通の安全等の確保という面と、星空等の自然環境を活かした景観保護の面々から、各自治公民館長や関係課と協議の下、検討を図って参ります。

(吉田副議長) 永野議員。

(永野議員) ありがとうございます。

(吉田副議長) 以上で、与論高校 永野議員の一般質問を終わります。次に、与論高校 山田議員の一般質問をお願いします。

(山田議員) こんにちは。与論高校1年の山田義将です。本日はこのような時間を設けてくださり、ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

それでは私の質問を始めさせていただきます。

私は勉強スペースの確保について質問をします。

図書館は6時に閉館してしまうので、学校終わりにもう少し勉強したいと思った時に勉強する場がありません。実際に、アンケートで町内の61人の子供たちが「学習スペースがほしい」という意見をもっていました。このことを解決するために、私は、勉強スペースを確保することが必要だと考えます。

具体的には、図書館の開館時間を延ばしてほしいと考えています。こうすることにより学校以外でも勉強することができ、学力向上に繋がる

と思います。

以上、図書館の開館時間を延ばし勉強スペースを確保することについてのお考えをお聞かせください。よろしくお願ひします。

(吉田副議長) ただ今の質問に対し、答弁を求めます。生涯学習課の川上課長。

(川上課長) ただ今の、山田議員の質問にお答へします。

まず初めに、図書館の学習室がある本来の利用目的は、自学自習のために作られており、お互いに教え合いながら学習できる場所ではないことをご理解いただきたいと思います。

また、学習室の学生の利用状況を見てみると、テスト前や受験シーズンになると利用者が多くなる傾向があり、その他の平日の利用は減少傾向になっています。そのため、開館時間を延ばしたとしても利用者が増えるとは考えられないため、残念ながら、現時点では開館時間を延ばすことは考えていません。

しかしながら、これから先、図書館の利用者から開館時間を延ばしてほしいという意見が多数出た場合は、教育委員会や図書館協議会とも協議しながら、検討していきたいと思ひます。

なお、学習スペースの確保については、ニーズを踏まえ、他の施設利用も含めて考えていくことが大切だと考えております。

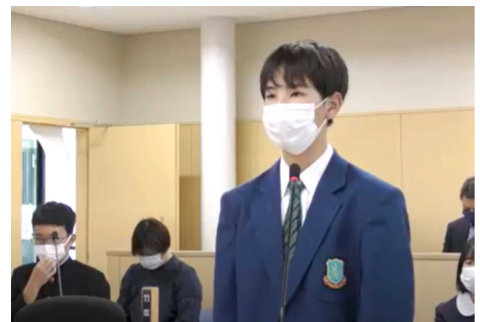
(吉田副議長) 山田議員。

(山田議員) ありがとうございます。

(吉田副議長) 以上で、与論高校 山田議員の一般質問を終わります。

(吉田議長) これで、本日の日程は全て終了しました。会場の皆様、10人のゆめ議員の皆さんと、ゆめ議員サポーターの皆さんに大きな拍手をお願ひします。

※ 「感想発表(坂元議員、川畑議員、永野議員)」、  
「講評(久留副町長)」及び「閉会のあいさつ(町岡教育長)」は掲載を省略



# 学校生活や人口減少について意見

## 与論町 小中高生12人が議員に

【沖永良部】与論町の子ども議会「ゆめ議会2021」が7日、同町役場の議会議場であった。町内の小中高生12人が議員となって学校生活や自然環境、公共施設などについて山元宗町長ら執行部に質問した。



子ども達の意見を町づくりに生かし、社会参画への意欲を高めてもらおうと町教育委員会が主催。2019年に初開催し、今回2回目。今後隔年で実施する。

各小中高校の代表として参加した子ども議員は、昨年5月から4回にわたるミーティングを行い、質問テーマや要望などを考えてきた。

与論小学校の体育館の雨漏りについて質問した同小6年の富岡菜菜さん(11)は「雨が降ると壁や床が濡れて、安心してスポーツができない」と訴えた。担当課長は「町には体育館の屋根を修理できない」と述べ、島の各砂浜に回収した海ごみを入れ

た。海ごみ問題をテーマにした与論小6年の松菜さん(11)は「雨が降ると壁や床が濡れて、安心してスポーツができない」と訴えた。担当課長は「町には体育館の屋根を修理できない」と述べ、島の各砂浜に回収した海ごみを入れパネルを使い質問する小学生らと与論町役場議会議場」

ため島の会社に依頼しているが、感染症の影響でスムーズに修理が行えない状況が続いている」と答弁、来年度修理する予定とした。

那間小6年の坂元ひろ子さん(12)は、同小学校の人口がほかの校区より少なくなっている現状をパネルで説明し、解決策として校区内に住宅や公園、店舗などの整備を要望した。担当課長は「今年度、住宅を建設する準備を進めている」と答えた。

久留満博副町長は「大人の目線で考えていると、気付かない点が多かった。今回出た質問に答えられるようになる機会になった。将来、大人になって貢献できることを見つけれ

た」と話した。議長を務めた与論高1年の古田莉萌さん(16)は「与論をもっと良くする方法を考える機会になった。将来、大人になって貢献できることを見つけれ

# 児童生徒が町へ質問

## 与論町子ども議会 町政や議会への理解深める



手書きの資料を提示しながら質問する児童ら  
＝7日、与論町議会議場

【沖永良部総局】与論町子ども議会(ゆめ議会)2021(与論町教委主催)が7日、同町議会議場であった。中高校生が進行役の議長、副議長を務め、町内の小学生6人、中学生と高校生各2人の計10人が質問役

の議員として参加。環境保全や公共施設整備など町の課題について、町当局に質問や提案を行い、町政や議会に対する関心と理解を深めた。

子ども議会は、児童生徒が議会や行政をより身近に感じするための機会づくりなどを目的に隔年度開催で企画。今回は2019年度に続き、2回目となる。児童生徒は今年度、リハ1サルも含め4回の事前研修に参加し、議会について学び、質問内容を考えた。

議長は、与論高校1年の吉田利萌さん、与論中学校3年の吉田祐乃さんが務めた。与論小6年の平田一期君は町内の廃業したホテルの建物について質問した。

「(建物)を取り壊して跡地に公園を造ってほしい。遊具を使って楽しく遊べる場所が増えるので、外で遊ぶ子どもが増えるのではないかと指摘。町側は「提案

を今後の検討の参考にした」と答えた。児童生徒からはこのほか、独自に実施したアンケートの結果や手書きの資料を示すなど発表方法を工夫

しながら「海ごみを減らすため、拾い箱を増やしてほしい」「茶花海岸にシャワー室を設置することが必要。利用者が増え、さらに多くの人でにぎわうと思

う」「夜間外出する人が事故に遭いづらくなったり、怖い思いをしなくて済むように、街灯を増やして」などさまざまな意見や要望があった。

※ 参考 南海日日新聞 令和4年1月8日(土)朝刊